

かけはし



令和 6 年度

発行 第7号

令和 6 年10月30日

厚木市

市民協働推進課

令和 6 年度 地域学校協働活動推進員 委嘱状交付式

6月17日（月）に地域学校協働活動推進員の推薦者である公民館地区館長の同席のもと、佐後教育長から委嘱状が手渡されました。厚木市教育委員会では地域と学校の情報をつなぎ、協働活動に結び付けていく『地域学校協働活動推進員』を配置する取組を進めています。令和5年度から7年度までに段階的に全校に推進員を配置していく予定です。



令和 6 年度新たに委嘱された推進員

依知北地区：	内山 遵（北小学校）、菊地 富士夫（藤塚中学校）
荻野地区：	井上 太一（荻野小学校）、佐久間 新一（上荻野小学校）、猿子 修司（鳶尾小学校）、若杉 重美（荻野中学校）
南毛利地区：	清水 佑将（南毛利小学校）、大山 裕一（戸室小学校）、佐藤 拓也（南毛利中学校）
相川地区：	濱田 大輔（相川小学校）、曾根 大（戸田小学校）、小塩 秀子（相川中学校）
緑ヶ丘地区：	井上 敏昭（緑ヶ丘小学校）

推進員連絡会

9月19日（木）に今年度6月に委嘱された推進員が参加する初めての連絡会を開催しました。各学校の推進員の方が集まり、推進員から事例発表やグループに分かれ情報交換を行いました。

グループに分かれ情報交換



地域学校協働活動は一律の進め方ではなく、地域や学校の実情や特色を生かし活動を進めていただく必要があります。

- ・ 具体的に何から始めれば？ ・ 学校情報を得るには？
 - ・ 先生とのやり取りの方法は？ ・ 活動の輪を広げるには？
- 疑問に思っていること、課題に感じていることなど情報交換が行われました。

事例発表では「協働活動シートについて」、「高校生による高校説明会」、「運動会テント設営」を行いました。



推進員からの活動報告・意気込みなど伺いました

(今回は小鮎、玉川、南毛利、森の里地区を掲載させていただきます。)

小鮎地区

・地域の方から昨年の冬、かぶと虫の幼虫をいただいて、子どもたちと昼休みに観察しながら育ててきました。7月10日成虫になった40匹のかぶと虫を校庭の木から自然に返しました。その姿は圧巻で子どもたちも大興奮でした。【小学校】

・6月25日に高校生による高校説明会を開催しました。高校生がスライドを作成し、台詞も内容も自分達で考えてきました。2学年と3学年の生徒の皆さんは先輩が話している内容を書きとめ、真剣に話を聞いていました。【中学校】

玉川地区

・運協で上がったテーマ『地域防災』への参加をしてもらう為にまず2学年に『防災教育』を授業で学んでもらいました。地域側には、自治会長に中学生の参加を打診し大歓迎していただけました。9月1日の防災訓練の日に中学生も参加する形のプログラムを組んでもらいましたが今回は台風の為、中止となりました。【中学校】

森の里地区

・夏まつりの準備や会場の模擬店で中学生ボランティアを募り生徒が地域で活躍する機会ができました。地域の三大まつり事業では、継続的に吹奏楽部の演奏を披露するプログラムがあり、楽器の運搬では地域の力を借りています。また小学校や地域の運動会の運営では、多くの中学生の力を借りています。互いの立場や状況を理解しながら協働し、人づくり、つながりづくりを推進させていきます。【中学校】

・今年度も熱い活動が続く小学校。恒例の地域探検の授業は後日、教室で地域の人たちによる座学を行いました。6年生総合ではインタビュー形式で大人と語り合うことにより、森の里について更に学びを深め共に地域愛を感じる時間になりました。【小学校】

南毛利地区

・夏休み最後の一週間「Let'sラジオ体操」も3年目となりました。今年は児童スタッフが司会やお手本も担当しました。地域の方と交流が出来て良かったとの感想もあり、改めてやって良かったと思える活動ができました。子どもたちと地域の繋がりがもっと生まれるよう、さらにアンテナを張っていききたいと思います。【小学校】

・子どもたちと地域が協力して笑顔の輪を広げ、みんなでサポート「みなサポ」オープンチャットを発足致します。第一弾として11月16日サポーターを募り、おまつりを開催予定です。【小学校】

・これまで、PTA・評議員・CS、青健連・自治会など様々な活動を経験させて頂きました。そこでの繋がりや経験の全てが自身の財産です。今後は推進員として関わる方々と共に子どもたちに何を残すか..をより意識した活動を進めて行きます。【小学校】

・厚木市には大企業に限らず名門と呼ばれる企業が数多くあります。それらの企業と学校を結び、生徒を受け入れやすい環境を整えていこうと思います。生徒は多くの職業を知ることができ、将来の選択肢が広がります。また、学校のニーズと企業のできることをマッチングでき、お互いWIN-WINの関係になれば幸いです。【中学校】

